

看護連盟 いばらき

第 63 号

2025 年 5 月 日号

茨城県看護連盟
水戸市緑町 3-5-35
TEL 029(225)3992
発行者 会長 山本かほる
info@ibaraki-kangorenmei.jp

看護師・保健師

いつも
現場目線、
看護の未来へ。

参議院議員(全国比例)

石田まさひろ
ひろ

目次

会長あいさつ	2
看護職議員活動報告	3
参議院議員石田まさひろ活動レポート	4
2024年度研修会参加者の声	5
茨城県看護連盟支部紹介・研修報告	6・7
わたしの休日・第2回青年部ブロックミーティング 第70回自由民主党茨城県支部連合会定期大会	8
2025年度茨城県看護連盟 通常総会プログラム 2025年度茨城県看護連盟主催研修計画(案)	9
編集後記	10

2025年度会員数
(R7.4)

4,118名



茨城県看護連盟会長あいさつ



茨城県看護連盟 会長 山本 かほる

新緑が眩しい季節になりましたが、会員の皆様はいかがすごでしょうか。

本会にとって嬉しいニュースです。3月27日、常陽銀行の寄贈サービス付き私募債「社会貢献応援債」活用により、(株)建築土木工事のアイエス入江謙吾社長様からテーブルセットの寄贈がありました。同行神立支店で贈呈式があり目録を賜りました。

入江社長様からは、看護職の地位向上に取り組んでいる本会の運営を支援することで、社会に貢献したいとの思いからこの贈呈式に至りました。入江社長様、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

さて、本年は看護職を代表する議員を政策決定の場へ送るための参議院選挙が行われます。会員一同結束力を高め国民の権利である投票を行使しましょう！

今年度も会員の皆様の現場の声をしっかりと受け止め看護連盟の意義を伝え看護政策実現のため、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

目的へ向けて頑張りましょう！！

日本看護連盟会長あいさつ



日本看護連盟 会長 高原 静子

会員の皆様におかれましては、新しい年度を迎え、忙しい日々を送られているかと思います。そして、新入職者の皆様は希望と不安に駆られながら、又、キャリアを継続される方は、新しい目標の下にスタートを切ったのではないのでしょうか。

一人の専門職として、日々の実践を通じて専門知識や技術を磨き、患者さんとの信頼関係を築くことが大切です。そして、皆さんが看護職として役割を果たし、誇りを持って活躍できる環境整備に看護連盟は尽力したいと考えています。

2040年問題に対応するには、現場の努力だけでなく、様々な政策提言が必要です。国政における制度成立に向けて活動する看護職国会議員の存在はなくてはならないものです。

看護職の未来を明るくものとするために、看護連盟の活動や政策提言にも関心を持ち、積極的に参加することで、より良い医療環境実現に寄与することができます。

皆様の情熱と専門性が看護の未来を切り拓く力となります。看護職国会議員、看護連盟と共に看護の課題を解決していきましょう。

茨城県看護協会会長あいさつ



公益社団法人茨城県看護協会 会長 白川 洋子

茨城県看護連盟会員の皆様、常日頃より協会運営にご支援、ご理解を賜りまして感謝申し上げます。速いもので今年度も2ヶ月を過ぎようとしています。時間がとても速いと感じる今日この頃です。この夏の参議院選挙を制覇するため、各県の連盟活動はこれまでも増して協会との協力体制を万全にして臨む必要があります。選挙活動が投票行動に好影響を及ぼすよう、看護職能団体として結果を出さなくてはなりません。5月の日本看護協会の理事会には、日本看護連盟役員と石田議員がお越しになり、意気込みを訴えられ、協会の幹部役員が協会を代表して、

石田議員への投票を熱く訴えました。各県の会長と共に熱いエールを送って参りました。今、看護職が力を持たなければ、少子高齢社会を乗り切ることが困難となります。そのためには質の高い看護ができる看護職の育成が大切です。看護の魅力を発信し、選ばれる職能団体として、茨城県看護連盟と共に「明日」をつかみ取ろうではありませんか。



看護職議員活動報告



衆議院議員・文部科学大臣 あべ 俊子

いつも大変お世話になり、ありがとうございます。
あべは昨年に引き続き、第二次石破内閣文部科学大臣として日々、文科行政に取り組んでいます。今国会では、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（給特法）の改正案」、「大学等における修学の支援に関する法律（大学等修学支援法）の改正案」（3月31日成立）という重要法案を提出しております。引き続き、改正案成立に向け全力で取り組んで参ります。

「誰も取り残さない」教育を掲げ、医療的ケア児対応や看護教育のあり方、地域に残る人材育成等に看護師として取り組んできた実績を活かし、これまで以上に現場を見て、声を聴いて参ります。

また、看護は、命を慈しみ、大切な人を護るための知識と技術が学べる素晴らしい仕事であると、次世代に伝えられるように、看護職の地位向上や環境改善に皆様と共に全力で取り組んで参ります。引き続きご指導ご支援よろしくお願い致します。



参議院議員 石田 まさひろ

令和7年度予算が可決しました。無事に予算が可決され、予算委員会委員、国会対策副委員長として胸を撫で下ろしています。

予算委員会では質問にも立ちました。他業種で賃上げが進む中、医療・介護従事者の賃上げは進んでいません。医療・介護従事者の賃上げを訴え、総理から賃上げ施策推進が明言されました。施策が実行されるよう、引き続きしっかりと注視していきます。一方で、医療機関、介護事業所の経営は厳しく、その実態を訴えた上で、物価や人件費の動きを自動的に組み込む予見性のある報酬体系の必要性や、複雑な算定要件による現場負担の改善等を求めました。

また、看護学校の定員割れが顕著であり、新人看護師確保が困難になっています。まさに医療崩壊の危機です。看護教育のあり方の見直しも訴えました。

これら危機的状況から一刻も早く脱せられるよう、尽力して参ります。引き続き、皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。



医療・介護・福祉の現場を守る緊急集会を開催



参議院議員 とものう りお

茨城県看護連盟の皆さま、こんにちは！

内閣府大臣政務官を拝命して5か月が経過しました。これまでの国会議員としての活動に加え、多くの公務が入り、忙しさはさらに増しましたが、政府の一員として国の政策にかかわることのできる貴重な日々を過ごしています。政務官の役割の一例として、担当大臣に代わり早朝の官邸での会議への出席、衆議院・参議院の委員会における与野党議員からの質問に対する答弁、内閣府主催の会議やイベントへの出席・挨拶を行うなど国会内外で様々な活動をしています。

また、看護職代表の国会議員として、処遇改善、人材確保、働く環境の整備、ハラスメント対策、業務効率化など私たちを取り巻く様々な問題には常に取り組んでいます。

現場の声を聞きながら、国政に届けてまいります。引き続き、ご支援をよろしくお願い致します。



こども家庭庁政務官室



予算委員会



地域で輝く女性起業家
サロン官邸総理面会



官邸での月例経済
報告関係閣僚会議

参議院議員石田まさひろ活動レポート

「自由民主党看護問題対策議員連盟（看護連）の総会」の開催

2025年4月16日、自由民主党看護問題対策議員連盟（看護連）の総会が開催されました。司会は看護職の友納りお議員・石田まさひろ議員が務めました。総会は、看護連に加入されている国会議員・看護関係団体14団体・厚生労働省・文部科学省の方々など、昨年を大幅に上回る参加者となりました。まず、看護連会長である加藤勝信議員（財務大臣）の挨拶から始まり、看護連の役員人事、参加された議員の紹介、日本看護連盟会長と日本看護協会会長の挨拶がありました。そして、看護連団体から提出された要望書は、日本看護連盟が集約し、代表して説明しました。そのうち日本看護連盟・日本看護協会の要望内容は、「医療・介護に従事する看護職の処遇改善」「夜勤交代制勤務従事者の健康確保のための労働基準法の改正」「看護業務へのデジタル技術導入（看護DX）の促進」等です。質疑応答では、議員より温かい応援メッセージを多く聞くことができました。最後に、看護連会長代理の田村憲久議員の閉会の挨拶で看護連総会は終了しました。（アンフィニ2025年春夏号P34より一部抜粋）

「医療・介護・福祉の現場を守る緊急集会」

医療経営が厳しさを増す中、自民党は4月18日に「医療・介護・福祉の現場を守る緊急集会」を開催、自民党国会議員と団体関係者ら700人超が現地参加し、オンライン視聴は3000人を超えました。

この緊急集会は、物価・賃金上昇に診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス報酬等の改定が追いついておらず、医療・介護・福祉の提供体制の維持、薬の安定供給が危ぶまれている状況を危惧し、参議院自民党有志が、2024年12月に財務・厚生労働・経済財政担当の三大臣へ緊急申し入れをしたことから始まりました。その後、自民党の議員・前議員に一人ひとり説明して賛同を求める署名活動を行い、308名の署名が集まりました。緊急集会では、自民党の有志議員と医療関係団体が、物価・賃金上昇に直面する現場の厳しい状況を訴え、対応を求める決議を採択しました。当日、会場は参加者全員が赤いハチマキをして待ったなしの厳しい現状を訴え、熱気溢れる集会となりました。参議院議員の石田まさひろ議員が決議とガンパローコールの発声を行いました。

同日夕方には、石破茂内閣総理大臣と面会し、寄せられた署名とともに決議された要望書を提出し、緊急申し入れを行いました。



すべての現場、あらゆる人々の健康と暮らしを守るため

看護の現場をまもるために

日本看護連盟 参議院議員石田まさひろ

- 医療・介護・福祉の現場を守る緊急集会を開催し、現場の現状を訴え、対応を求める決議を採択しました。
- 現場、物価・賃金上昇に診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス報酬等の改定が追いついておらず、医療・介護・福祉の提供体制の維持、薬の安定供給が危ぶまれている状況を危惧し、参議院自民党有志が、2024年12月に財務・厚生労働・経済財政担当の三大臣へ緊急申し入れをしたことから始まりました。その後、自民党の議員・前議員に一人ひとり説明して賛同を求める署名活動を行い、308名の署名が集まりました。緊急集会では、自民党の有志議員と医療関係団体が、物価・賃金上昇に直面する現場の厳しい状況を訴え、対応を求める決議を採択しました。当日、会場は参加者全員が赤いハチマキをして待ったなしの厳しい現状を訴え、熱気溢れる集会となりました。参議院議員の石田まさひろ議員が決議とガンパローコールの発声を行いました。
- 同日夕方には、石破茂内閣総理大臣と面会し、寄せられた署名とともに決議された要望書を提出し、緊急申し入れを行いました。

看護職の処遇改善

1. 医師・介護サービスに従事する看護職の処遇改善

- 診療報酬の改定年度に、看護職に相当する看護職の賃金・処遇を向上させるための措置を講ずる。
- 賃金・処遇の向上に努める。
- 診療報酬の改定年度に、看護職に相当する看護職の賃金・処遇を向上させるための措置を講ずる。
- 賃金・処遇の向上に努める。

2. 夜勤交代制勤務に従事する看護職の健康確保

労働基準法を改正し、夜勤交代制勤務に従事する看護職の健康確保のための措置を講ずる。

参議院議員 石田まさひろ

『医療・介護・福祉の現場を守る緊急集会』

医療・介護・福祉の現場を守る緊急集会を開催し、現場の現状を訴え、対応を求める決議を採択しました。

現場、物価・賃金上昇に診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス報酬等の改定が追いついておらず、医療・介護・福祉の提供体制の維持、薬の安定供給が危ぶまれている状況を危惧し、参議院自民党有志が、2024年12月に財務・厚生労働・経済財政担当の三大臣へ緊急申し入れをしたことから始まりました。その後、自民党の議員・前議員に一人ひとり説明して賛同を求める署名活動を行い、308名の署名が集まりました。緊急集会では、自民党の有志議員と医療関係団体が、物価・賃金上昇に直面する現場の厳しい状況を訴え、対応を求める決議を採択しました。当日、会場は参加者全員が赤いハチマキをして待ったなしの厳しい現状を訴え、熱気溢れる集会となりました。参議院議員の石田まさひろ議員が決議とガンパローコールの発声を行いました。

同日夕方には、石破茂内閣総理大臣と面会し、寄せられた署名とともに決議された要望書を提出し、緊急申し入れを行いました。



2024年度 研修会参加者の声

会員研修会

「医療現場におけるハラスメントについて」

日時：2024年11月23日(土) 13:30～16:00

場所：茨城県トラック協会

講師：参議院議員 友納 理緒 先生



協和中央病院 皆川 智子

私は2024年11月23日、友納理緒先生によるハラスメント研修に参加させていただきました。この研修では、日常の中でどのような場面でハラスメントが発生するのかを改めて考える機会となりました。特に、職場での何気ない言動が相手にどのような影響を与えるのかを深く考えることの大切さを実感しました。「ハラスメントは、加害者が無自覚に行ってしまうことが多い」という先生の言葉には強く共感しました。また、自分自身も無意識のうちに相手を不快にさせてしまう可能性があることに気づき、日頃の言動を見直す必要性を感じました。研修では具体的な事例が紹介され、実際の現場でどのような対応が求められるのかが分かりやすく示されており、理解が深まりました。

今回の研修を通して、ハラスメントの正しい理解と、組織としての対策が非常に重要であることを学びました。今後は、職場全体でお互いを尊重し合い、安心して働ける環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。日々のコミュニケーションを大切に、誰もが気持ちよく働ける職場を目指していきたいです。私自身も今回の学びを活かし、まずは身近なところから意識改革を進めていきたいと思っています。



看護管理研修会

「持続可能なキャリアを考える」

～この先の看護職の可能性～

日時：2024年12月7日(土) 13:30～16:00

場所：茨城県トラック協会

講師：東京医療保健大学 副学長 坂本 すが 先生



水戸済生会総合病院 奥川 洋子

坂本先生は、ご自身の経験を交えながら、看護職の可能性について示唆に富んだ講義をしてくださいました。「新人時代は仕事が大好きだったわけではない」「チームで働く楽しさを知ったのは看護管理者になってから」と率直に語られ、その言葉に共感しました。

現在、日本は生産年齢人口の減少や多死社会といった課題に直面しています。看護管理者として、多様なキャリアパスを模索し、社会のニーズに応える使命があると学びました。また、ICTを活用し業務を整理し、効率よく看護を提供する環境を整えることの重要性も再認識しました。

坂本先生から多くの学びを得るとともに、大いに励まされ、非常に有意義な研修会でした。



会員研修会

「国政におけるこれまでの活動と看護政策のこれから」

日時：2025年1月25日(土) 13:30～15:30

場所：茨城県トラック協会

講師：前衆議院議員 たかがい 恵美子 先生



JAとりで総合医療センター
看護師長 伊藤 真美

2025年1月25日、前衆議院議員高階恵美子先生の「国政におけるこれまでの活動と看護政策のこれから」をテーマにした看護連盟会員研修会に参加させていただきました。高階先生の描く国民が楽しく、豊かに、堂々と暮らせる「成熟社会・にほん」となるための国政で活動されてきたこと、看護職がいきいきと国民の福祉に貢献できるための政策等、高階先生の熱い想いを拝聴することができました。コロナ禍を経て、私たち看護職も少しずつ変化してきています。看護職が安心・安全に末永く働ける環境の礎を築いていただけに感謝するとともに、今後も現場で奮闘する看護職が輝き続けられる環境を作っていくために、国政に私たちの声を届けることが必要であると改めて再認識しました。



会員・賛助会員

「健やか寄席」～笑うあなたに福来たる～

日時：2025年2月1日(土) 13:30～16:00

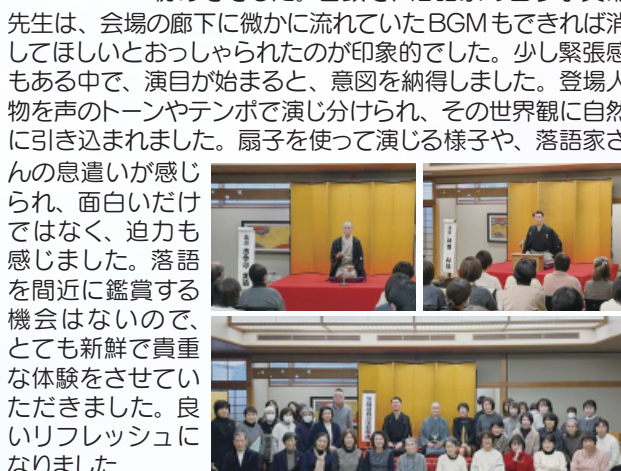
場所：ホテルレイクビュー水戸

講師：古今亭 文菊 先生 神田 山緑 先生



水戸赤十字病院 林 千晶

令和7年2月1日にホテルレイクビュー水戸で行われた茨城県看護連盟主催の「すこやか寄席」に参加させていただきました。落語は日本の伝統的な芸能ですが、生で鑑賞するのは初めてでした。冒頭で、落語家の古今亭文菊先生は、会場の廊下に微かに流れていたBGMもできれば消してほしいとおっしゃられたのが印象的でした。少し緊張感もある中で、演目が始めると、意図を納得しました。登場人物を声のトーンやテンポで演じ分けられ、その世界観に自然に引き込まれました。扇子を使って演じる様子や、落語家さんの息遣いを感じられ、面白いだけではなく、迫力も感じました。落語を間近に鑑賞する機会はないので、とても新鮮で貴重な体験をさせていただきました。良いリフレッシュになりました。





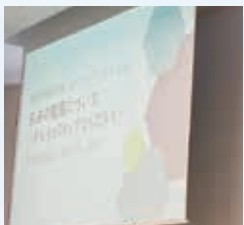
茨城県看護連盟支部紹介・研修報告



県南第1支部

県南第1支部長 根本 幸代

県南第一支部は、東京医科大学茨城医療センター・霞ヶ浦看護専門学校、朝田病院、県南病院の会員で構成されています。看護連盟活動を理解してもらうために、県南地区・近隣病院と連携をとりながら合同研修会開催を実施してきました。昨年度は、日本看護連盟 岡山充憲幹事を招いての合同研修会や資産運用等の研修会を開催しました。今後も会員確保に繋がるような研修を企画していきたいと思います。また、看護連盟活動は、看護職の処遇・働く環境改善に大きな力を持つため、「現場の声」が届けられるよう活動していきたいと思います。



結城支部

結城支部長 渡邊 ユリエ

1月18日に支部研修を実施しました。今年のテーマは看護師として悩みの多い『睡眠』としました。東洋羽毛の日本睡眠教育機構認定師 上級睡眠健康指導士の新矢昭吾様をお招きし、①睡眠はコントロールできないが生活をコントロールすることで良質な睡眠を得ることができる②当たり前のように使用しているスマホがどれだけ睡眠に影響するのか③夜勤中の仮眠の重要性などをお話頂きました。参加した25名の会員からは、「睡眠の質を上げることで日中の仕事や子供の成長、勉強やスポーツにまで影響があることを知った。」「今日から寝る前1時間はスマホを見ないようにする」といった感想も聞かれ、自分の睡眠について考える有意義な時間となりました。





水戸第3支部

水戸第3支部長 前嶋 由起子

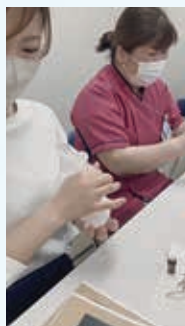
水戸第3支部はJA茨城県厚生連水戸協同病院の単独支部です。会員数は、280名弱で、各部署にリーダーを配置し活動しています。

年間の研修会をご紹介します。例年、通常総会の後に、研修会の企画を練ります。

まず、新採用者向けの基礎研修会と会員向けの基礎研修会を行い、最後は、レクレーションを織り交ぜた研修会を実施しています。昨年度は、会員向けの研修会に、初めて、日本看護連盟HPの動画視聴を取り入れ、各自e-ラーニングで受講していただきました。

レクレーション研修は、バスボムづくり、アロマオイルの香りで癒やしの時間を体験し、好評を得ています。

“連盟活動は楽しい”とリーダーも含め、感じてもらうような活動を心がけています。



県南第4支部

県南第4支部長 縮 夏美

県南第4支部は、5施設、会員数85名（2025年4月）の看護連盟会員に支えられています。コロナ後初となる、単独支部の研修を2025年2月20日に開催しました。会員・非会員の約50名が参加し有意義な研修となりました。今回、看護連盟の活動を1人でも多くの看護師へ伝えていきたいと考え「看護の未来をつくる～看護の代表を国政の場へ～」をテーマに茨城県看護連盟山本会長にお話して頂きました。また、当院の認知症看護特定看護師より「認知症看護ケア入門」についての講義の時間を作り、看護現場での悩みを共有する機会となりました。

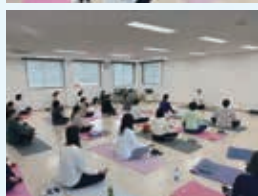
今後も看護を通しての研修を企画するなど、施設間のコミュニケーションを図り、看護の代表を国政に送ることの重要性について理解して頂けるよう努めて参ります。



古河支部

古河支部長 飯塚 真弓

今回は、日々の業務に追われ疲弊している多くの会員が心も体もリフレッシュできるようにヨガ体験を実施しました。ヨガはダイエットや健康法としてもブームになっていますが、ヨガ体験を通し、会員間の交流や普段使わない筋肉のストレッチを行い、活力に満ちた前向きで穏やかな時間を共有できる機会になればと思い企画しました。マタニティヨガインストラクターの資格を持つ助産師を講師に迎え、28名の会員が全身を使ったヨガを体験しました。参加者からは、「肩こりや腰痛が楽になった」「楽しかった」「リフレッシュできた」など多くの反響がありました。心も体も健康で働き続けるために意図的に体を動かしたりリフレッシュできる機会を提供していきたいと思っています。



県西支部

県西支部長 高野 直江

県西支部主催で開催した「睡眠と健康について考えよう」講師として東洋羽毛株式会社の方をお招きし、夜勤や交代勤務による睡眠負債が、注意力や判断力の低下を招き、医療ミスやヒヤリハットの増加につながるリスクがあること、また生活習慣病やうつ病などの健康リスクも高めることをご講義いただきました。研修では、交代勤務中でも睡眠の質を高める工夫についても学びました。特に、短時間の昼寝15～20分の短い昼寝を取ることで疲労を軽減し、集中力を維持できるという具体的な方法が印象に残っています。今後は、睡眠の重要性について職員への周知をさらに強化し、みんなで健康意識を高めていきたいと思っています。今回の研修は、日々の働き方を見直す良いきっかけとなりました。



わたしの休日

白十字総合病院

窪谷 元貴

多趣味な私は今までスポーツやギター、DIYやキャンプ・登山など様々なジャンルを経験してきましたが、その中でも今一番情熱を注いでいるのはロードバイクです。流れる景色を見ながらロードバイクを走らせることで小旅行をした気分になり運動不足・ストレス解消になります。

休日は遠方のカフェを目指して北浦・霞ヶ浦1周を走ります。また、イベントに参加して那須高原や富士山、榛名山などの山にも登ったりしています。イベントでは軽食や特産品・豊かな自然や風景を堪能し、山を登りきった達成感とそこから見える絶景を眺めながら嗜む珈琲は、頑張った人だけが味わえる特権で最高の御褒美です。



介護老人保健施設 すばる

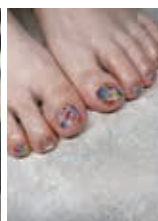
小幡 相



私は、老健すばるで働き始めて5年目となりました。利用者様の多くは80、90代の方々です。利用者様から、過去の体験談を聞かせて頂くことや、看取り期の看護に携わる機会が多くあります。

その中で、私は利用者様から「人生の時間は有限であること」を教わり、健康でいる事の大切さ、家族との時間の大切さを、今まで以上に感じるようになりました。

一人時間には、フットネイルやよもぎ蒸し、ヨガで心と体を整え、家族と一緒に休日には、スポーツ観戦やキャンプに出掛け、無邪気に楽しむ子供の姿や、美味しい食事、自然に癒しをもらっています。仕事や生活にも前向きになれる様に、オン・オフの切り替えを大切にしています。



第2回青年部ブロックミーティング

日時：2025年2月15日(土)



青年部委員 松永 奈月

私は、2024年7月に青年部へ入り、初めて青年部ブロックミーティングに参加しました。

Zoomでのミーティングだったため、青年部にはどんな方がいるのかお顔を拝見することができ、次回はぜひ会場で青年部の方とお会いし、青年部の活動が盛り上がるように情報交換をしたいと感じました。ミーティングでは、石田先生の秘書のお二人が石田先生の魅力を語られ、ユーモアがあふれる方だと思いました。また、アプリを使用し、ショート動画の作成方法について実際に制作をしました。デジタルネイティブ時代であり、SNSユーザーが増えているため、茨城県看護連盟青年部として青年部がどのような活動をしているのか、SNSで情報発信をしていきたいと思いました。

第70回自由民主党茨城県支部連合会定期大会

日時：2025年3月30日(日)

幹事長 岸 洋子

自民党茨城県連の第70回定期大会が3月30日、つくば国際会議場で開催されました。参加者は約850名の参加がありました。大会では、多くの市町村長・市町村議長のご参列があり、大井川知事、高橋靖県市長会長の挨拶、国会議員・県議会議員を代表して梶山弘志衆議院議員から挨拶、今夏の参議院選挙茨城選挙区の公認候補・上月良祐参議院議員からの挨拶がありました。

党勢拡大への貢献をたたえられた大会表彰者26人が海野会長から表彰状を受けました。

議事は、永岡桂子衆議院議員を議長に進められ、令和7年活動基本方針や役員選任、大会宣言、大会決議など5議案に対し会場の代議員との質疑が交わされ、原案通り承認されました。役員は引き続き海野会長、白田信夫幹事長のもと編成された新役員体制が承認されました。5万人党員を目指す党勢拡大や、夏の天王山となる参議院選の勝利に向けて総力を結集しようと氣勢を上げました。最後には、出席した国会議員や県議、市町村長、市町村議員、党員らで、西野一県議会議長の音頭によりガンパロー三唱を行いました。





2025年度 茨城県看護連盟 通常総会 プログラム

日時：2025年6月26日（木） 13：00～16：30 場所：ホテルレイクビュー水戸

12:30 開場 オリエンテーション		5 第5号議案 役員選出(案)
13:00 開会 挨拶 来賓祝辞 来賓紹介 祝電披露		6 第6号議案 役員選出
13:20 総会成立宣言 議長団選出		7 第7号議案 2026年度日本看護 連盟通常総会代議員選出について
報告事項	1 2024年度通常総会報告 2 2024年度都道府県会長会報告 3 2024年度会議報告 4 2024年度活動報告 5 2024年度決算報告 6 2024年度監査報告 7 2025年度日本看護連盟通常総会 代議員報告	新役員紹介 退任役員への謝辞 退任役員挨拶 綱領宣言 連盟の歌斉唱 閉会
審議事項	1 第1号議案 規約改正(案) 2 第2号議案 2025年度スローガン(案) 3 第3号議案 2025年度活動計画(案) 4 第4号議案 2025年度収支予算(案)	14:15 自由民主党茨城県看護連盟職域支部協議会総会 14:25 ～ 休憩 ～ 14:30 特別講演 Ⅰ 演題 「人生100年時代の看護政策と看護職代 表議員の役割」 講師 参議院議員石田まさひろ政策秘書 五反分 正彦 氏 Ⅱ 演題 「人口減少時代の茨城県政」 講師 茨城県知事 大井川 和彦 氏
		16:30 閉会

2025年度茨城県看護連盟主催研修計画(案)

- 2025年度目標
1. 看護連盟の役割を理解し、自ら連盟活動が出来る
 2. 支部組織の強化、促進
 3. 組織拡大のための会員の増加

研修会名	開催日程	対象	内容・講師等
会員研修会①	2025年5月30日(金) 17:00～19:00 オンライン	会員	「最近話題の感染症対策について」 講師：板橋中央総合病院 院長補佐・質改善・安全(QIMS)センター 副センター長 坂本 史衣 先生
新入会員・ 会員研修	2025年8月30日(土) 13:30～16:00 集合研修 会場：茨城県トラック協会	会員	「長く働きたくなる職場づくり」～心理的安全性活用のポイント～ 講師：キャリアコンサルタント・産業カウンセラー 須藤 昭彦 先生
看護管理 研修会①	2025年10月25日(土) 13:30～16:00 集合研修 会場：茨城県トラック協会	部長・副部長・師長・ 主任・リーダー	「ワクワクするマネジメントをしよう！」 講師：東京医療保健大学 副学長 坂本 すが 先生
青年部研修会 (ポリナビワーク ショップ)	2025年 月 日(土) 調整中	会員	
会員研修会②	2025年11月15日(土) 13:30～16:00 集合研修 会場：茨城県トラック協会	会員	国政報告 「医療現場・職場内のハラスメントへの対応」 講師：参議院議員 友納 理緒 先生
会員及び 賛助会員 研修会	2026年2月28日(土) 13:30～16:00 集合研修 会場：ホテルレイクビュー水戸	会員・賛助会員	「健やか寄席」～笑うあなたに福来たる～ 講師：古今亭 文菊 師匠 神田 山緑 先生
看護管理 研修会②	2026年3月21日(土) 13:30～16:00 集合研修 会場：茨城県トラック協会	部長・副部長・師長・ 主任・リーダー	「2026年度診療報酬改定のポイントと看護対策」 講師：株式会社ウォームハーツ 代表取締役 長面川 さより 先生

* 研修会はオンライン研修も併用する予定です。 * 研修会の変更等については茨城県看護連盟ホームページをご覧ください。

建築土木工事のアイエス様より本会へテーブルセットのご寄付を頂きました



建築土木工事のアイエス様より「看護職の地位向上に取り組んでいる同団体の運営を支援することで社会に貢献したい」とテーブルセットのご寄付を頂きました。2025年3月27日に贈呈式が執り行われ、入江謙吾社長より山本会長に目録が手渡されました。入江謙吾社長より「地域のお役に立てれば」とのご厚志を賜り、山本会長より「コロナ禍ではマスクを提供して頂き大変助かった。大切にに使わせていただく」と深く感謝の意を申し上げました。

2025年度 茨城県看護連盟会員 入会受付中

日本看護連盟公認キャラクター



レンコ

カンタ

皆さまのご入会をお待ちしております。

みんな集まれ！楽しいよ！！

- | | |
|-------------|---|
| 正会員 | 年会費 7,000 円 (日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円)
・看護協会会員であること。 |
| 特別会員 | 年会費 7,000 円 (日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円)
・正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会に入会していない方。 |
| 賛助会員 | 年会費 1,000 円
・看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方であれば、どなたでも入会できます。 |
| 学生会員 | 年会費 無料
・看護学生で、看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方。 |

【お問合せ】 茨城県看護連盟ホームページもご覧下さい。 <https://ibaraki-kangorenmei.jp/>
〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35 TEL: 029-225-3992 FAX: 029-232-8648 E-mail: info@ibaraki-kangorenmei.jp

茨城県看護連盟 ホームページ紹介

随時更新中!

<https://ibaraki-kangorenmei.jp/>



LINE 登録してね



看護師の“知りたい”
をつなぐ看護職議員の
活躍がよく分かりますよ!

日本看護連盟

不要な羽毛ふとんはありませんか？

東洋羽毛が無料でお引取りします。

東洋羽毛は、不要羽毛ふとんの引取りを通じて、SDGs(持続可能な開発目標)の活動に取り組んでいます。



引取り詳細▶

- お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
- 引取り可能なふとんの種類は「羽毛ふとん」です。掛けふとん・敷きふとん・まくら等の羽毛製品のみです。
- リサイクル羽毛として活用できないものや羽毛ふとん以外には引取りできません。
- 東洋羽毛以外の羽毛ふとんも引取り可能です。

TUK Link Project



東洋羽毛北関東販売株式会社 茨城営業所
310-0842 茨城県水戸市けやき台2-19-2

茨城営業所



0120-46-1590
フリーコール

編集後記

参議院選挙の年です。看護職国会議員がいなければ看護の現場の声を届けより良い看護の実現に繋がっていくことができません。石田まさひろ議員は国会の場で看護職のために医療現場をよくするために活動しております。看護職国会議員を国政に送り出すためには会員皆様のお力が必要です。大いなるご支援を何卒よろしくお願いいたします。(広報委員)